

## 地域包括ケアモデル事業について

### 1 内容

「地域包括ケアシステム構築に向けた提言」で提示されたモデルについて、モデル地区を設定して平成26年度から3年間モデル事業を実施し、地域の特性に応じた具体的なシステム構築を図ってきた。

モデルについては、最初にシステムの要となる医療・介護等の関係機関による連携体制を構築し、その後段階的に介護予防、生活支援、住まい対策の取組を進めていくこととしてきた。

### 2 実施市

モデル	箇所数	実施市（対象地域）
地区医師会モデル	3か所	安城市（南中学校区）、豊川市（南部地域包括支援センター地区）、田原市（東部中学校区）
訪問看護ステーションモデル	1か所	新城市（新城市全域）
医療・介護等一体提供モデル	1か所	豊明市（北部地域包括支援センター地区）
認知症対応モデル	1か所	半田市（半田中学校区）

### 3 3年間の主な取組

年度	主な取組
H26	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関のネットワーク化（関係機関連絡会議、地域ケア会議の開催等）</li> <li>医療と介護の連携（ICTを活用した情報共有、多職種の研修、普及啓発等）</li> <li>認知症に関する多職種の研修、普及啓発（認知症対応モデル）</li> </ul> 等
H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の社会参加・生きがいと融合した予防の取組（高齢者の介護予防のための通いの場を、元気な高齢者にボランティアとして参加してもらいながら開催等）</li> <li>生活支援（見守りを含む）の強化策の取組の検討</li> <li>要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の検討</li> <li>認知症に対応した新たな取組（認知症カフェの設置等）（認知症対応モデル）</li> </ul> 等
H28	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者の社会参加を含む健康づくりリーダー、食生活改善推進員等を活用した予防の取組</li> <li>生活支援（見守りを含む）の強化策の実施</li> <li>要介護等の高齢者の住まいの課題に対する具体策の実施</li> <li>認知症に対応した取組の充実（認知症カフェの運営等）（認知症対応モデル）</li> </ul> 等

### 4 普及啓発

モデル事業の進捗状況等については、年2回の報告会の開催を通じて、他の市町村や県民へ情報提供を行い、県内全域での地域包括ケアシステム構築に向けた普及を図っている。

#### 【普及啓発の3年間の実施状況】

年度	月日	イベント・会議名等	参加数
H26	6月30日	○地域包括ケアモデル事業説明会（ウィルあいち）	303名
	10月31日	○地域包括ケアモデル事業中間報告会（愛知県自治研修所）	172名
	3月23・24・27日	○地域包括ケアモデル事業活動成果報告会（ウィルあいち、豊橋市公会堂、刈谷市産業振興センター）	754名
H27	10月29日	○地域包括ケアモデル事業中間報告会（ウィルあいち）	148名
	3月23・24日	○地域包括ケアモデル事業活動成果報告会（豊橋市公会堂、名古屋市中小企業振興会館）	441名
H28	10月29日	○地域包括ケアモデル事業中間報告会（ウィルあいち）	146名

#### 【今後の実施予定（平成28年度）】

##### ○活動成果報告会

##### [尾張・西三河地区]

開催日・時間 平成29年3月21日（火）午後1時～午後5時（予定）  
 場所 名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）メインホール（430席）  
 内容（予定）

- ・モデル事業実施市の活動成果報告（安城市、豊明市、半田市、春日井市）
- ・地域包括ケアの取組に関する講演（さわやか福祉財団 理事長 清水肇子 氏）

##### ■さわやか福祉財団について

###### ○組織概要

1991年11月、さわやか福祉推進センターとして活動を始め、95年に市民参加型財団として法人化。社会の動きを先駆的に見つけ、世のニーズを鋭敏に感じ取り、高齢社会におけるふれあい社会の実現を目指す。

###### ○法人名 公益財団法人さわやか福祉財団

###### ○所在地 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7階

###### ○代表者 会長：堀田 力、 理事長：清水 肇子（講演者）

###### ○主な活動 ふれあい推進事業、社会参加推進事業、情報・調査事業

###### ○主な活動実績

新潟市や大船渡市など、全国での地域包括ケアシステムの構築に寄与することを目的とした包括連携協定を締結。

##### [東三河地区]

開催日・時間 平成29年3月23日（木）午後1時～午後5時（予定）  
 場所 豊橋市公会堂 大ホール（600席）  
 内容（予定）

- ・モデル事業実施市の活動成果報告（豊川市、田原市、新城市）
- ・地域包括ケアの取組に関する講演（全国コミュニティライフサポートセンター 理事長 池田昌弘 氏）

##### ■全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）について

###### ○組織概要

CLCは、高齢者及び障害者、子どもなどが自立した生活を営むために必要な支援を実施する団体や、それらの団体のネットワーク組織を支援することにより、「だれもが地域で普通に」暮らし続けることのできる地域社会の実現を目指して、1999年夏に任意団体として設立。※2001年2月以降はNPO法人として活動。

###### ○法人名 特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

###### ○代表者 池田 昌弘（講演者）

###### ○所在地 宮城県仙台市青葉区木町16-30（他全国4カ所）

###### ○主な活動 社会福祉に関するセミナー・フォーラムの企画、運営支援、調査研究、団体支援、社会福祉に関する出版の企画、編集 など

###### ○主な活動実績

- ・地域支援事業における生活支援コーディネーター、協議体の進め方に関する調査（厚生労働省老健局）
- ・住民主体の地域支え合い活動と事業の立ち上げ支援（復興庁）
- ・生活支援コーディネーター養成研修（宮城県、沖縄県、福島市等）